

令和7年度 部長目標宣言シート							産業振興部
No.	部長目標宣言	課名	課長目標宣言	成果指標			事務事業名
				指標名	現状値	目標値	
①	カーボンニュートラルやDXへの取組、さらには、ベンチャー企業との連携などの支援により、 市内企業の競争力の向上を図ることで、製造品出荷額等の増大 を目指します。 このほか、新たな産業用地の開発など、市内企業の立地や域外企業が進出できる環境を検討します。	商工振興課	生産性向上や新たなビジネスモデル構築に向け、デジタル・AI技術導入など、DXへの取り組み支援を行うほか、企業間取引の更なる拡大を図るため品質管理における国際認証取得に向けた支援を行います。 また、カーボンニュートラルをはじめとした脱炭素経営（SDGs）に向けた取り組みを推進します。	DX生産性向上促進補助金交付決定数	12件 （R6実績）	13件 （予算）	中小企業DX推進支援事業
				ISO9001等認証取得支援補助金交付決定数	-	8件	ものづくり品質管理支援事業
				SDGs経営（SBT認証取得等）促進事業補助金交付決定数	7件 （R6実績）	7件	SDGs経営促進事業
	中間評価	商工振興課	新たな事業創出や創業を促進するため、イノベーション拠点施設（シェアオフィス等）を活用した企業間連携を推進するほか、市外および域外企業の立地を促進するため、立地ニーズ等の情報収集と立地支援を行うなど、地域の特性や強みを生かした域外企業の誘致も推進していきます。	シェアオフィスへの新規入居者数	2件	2件	企業立地活性化事業
	最終評価			市の補助制度など活用し、市が携わって新たに市内へ立地した面積	0㎡	17,500㎡	
②	働きやすい職場環境の整備を支援するとともに、兼業・副業や外国人材など 多様な人材が活躍でき、選ばれる地域 となることを目指します。	商工振興課	働きやすい職場環境の整備を支援することで、従業員の作業効率や満足度の向上を図り、市内企業の人材確保や定着を促進させます。	工場等遮熱断熱工事後のアンケートにおいて職場環境が改善したと回答した割合	87.5%	90%	働きやすい職場環境整備支援事業
				働きやすい職場環境整備後のアンケートにおいて職場環境が改善したと回答した割合	-	90%	
	中間評価	商工振興課	多様な人材の活躍を推進するため、外部からの専門人材と企業とのマッチングや外国人材の受け入れを支援します。	外部の専門人材とマッチング件数	4件 （R6実績）	4件	つばめJOBサポート事業
	最終評価			市内企業への新規学卒者就職割合（高校生）	66%	66%	
③	今後の 観光需要に対応した誘客を一層促進させる ため、燕市観光振興プランを策定するとともに、インバウンドをはじめとした観光プロモーションについては、他自治体とも積極的に連携し、さらなる交流・応援人口の拡大を図ります。	観光振興課	産業観光の拠点施設である産業史料館の機能強化によるミュージアムショップ等の開設および自然観光の拠点施設である道の駅国上の駐車場拡張などの好機を有効に活用し、さらなる誘客数の増加を図ります。	観光客入込客数（暦年）	1,228,199人 （R6実績）	1,290,000人	道の駅「国上」運営事業
				産業史料館入館者数	24,598人 （R6実績）	26,000人	産業観光推進事業（観光推進費）
				道の駅国上入館者数（全体）	720,304人 （R6実績）	756,000人	お土産品グランプリ事業
							産業観光受入体制整備事業
							道の駅「国上」駐車場整備事業
							燕市観光振興プラン策定事業
				外国人観光客入込数（年度）	5,280人 （R6実績）	6,100人	観光プロモーション戦略推進事業（観光推進費）
							燕・弥彦広域観光連携事業
							燕・弥彦広域観光連携事業
			燕市観光協会や弥彦村、弥彦観光協会との連携事業に加え、県央地域5市町村で構成する弥彦・燕三条エリアマーケティング会議などで行う観光プロモーションに積極的に取り組みます。	主要観光地による売上金額	10億300万円 （R6実績）	10億3000万円	燕市観光協会補助金（観光推進費）
							燕・弥彦広域観光連携事業
							燕・弥彦広域観光連携事業
							観光誘客促進事業
	中間評価						
	最終評価						

令和7年度 部長目標宣言シート

産業振興部

No.	部長目標宣言	課名	課長目標宣言	成果指標			事務事業名
				指標名	現状値	目標値	
④	燕市産農産物の認知度向上と消費拡大、先進技術の活用による経営の効率化・省力化を推進するとともに、担い手の確保と農地利用の適正化を進め、農業の振興を図ります。	農政課	燕市産農産物の認知度向上と消費拡大を支援し、農業所得の向上を図ります。	食べて応援キャンペーン関連販売額	8,240万円 (R6実績)	8,500万円	農産物消費拡大推進事業
				つばめトマトの認知度 アンケート項目「燕市が県内有数の大玉トマトの産地であることを知っている」の回答率	21% (R6実績)	40%	
		農政課	地域の実情に合わせ地域計画を改定し、農地の荒廃を抑止するとともに集積を進め、担い手確保を図ります。	「地域計画」改定地区数	-	全23地区	地域計画推進事業
				新規就農者数	3人 (R6実績)	4人	踏み出せ！農業！スタートアップ事業 (農業インターンシップ推進事業)
		農政課	先進技術の活用で農作業を効率化・省力化し、規模拡大や複合営農を推進することで、農業所得の向上を図ります。	「新大コシヒカリ」試験栽実演会、報告会等の実施回数	-	3回	農産物高付加価値化推進事業
				米1等米比率(米の品質向上支援事業補助金【色彩選別機】導入農業者)	90% (R6実績)	92%	
				水稻直は作付面積	489ha (R6実績)	495ha	水田経営力強化推進事業
				担い手への農地集積率	76.8% (R6実績)	77.5%	チャレンジ・ファーマー支援事業
							先進技術活用推進事業
	中間評価						
	最終評価						
⑤	「森林整備計画」を策定して森林整備を進め、 良好な生活環境の保全 を図ります。	農政課	手入れの行き届いていない森林の管理を促進し、土砂災害リスクの低減、森林や自然への理解・関心の向上等を図ります。	森林整備計画の策定	-	令和8年3月までに策定	森林経営管理事業
	中間評価						
	最終評価			森林フェア来場者数	627人 (R6実績)	700人	